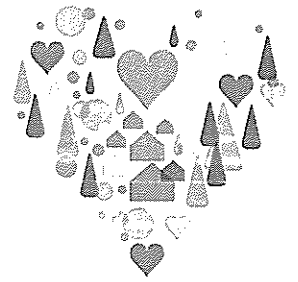


発表項目 (行事名)	令和3年度 「北の住まいるタウン」事例見学ツアーの実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 環境モデル都市として、行政・町民・企業など町全体で温室効果ガス削減に取り組むニセコ町にて、低炭素なまちづくり、観光・景観の取組などについて現地を見学し、今後のまちづくりを考えるきっかけとしていただくことを目的に、次のとおり「ニセコ町事例見学ツアー」を開催します。</p> <p>1 日時 令和3年8月27日(金) 10:15~16:15 → <u>令和3年10月11日(月) 10:30~16:30</u></p> <p>2 集合場所 ニセコ中央倉庫群1号倉庫(ニセコ町中央通6-0-2) → <u>ニセコ町民センター(ニセコ町富士見95番地)</u></p> <p>3 定員 30名(先着順) ※残席わずかです。お早めに申してください</p> <p>4 見学施設 ニセコ町役場新庁舎、綺羅街道、JAようてい雪氷熱倉庫、ニセコビュープラザ、ニセコ中央倉庫群旧でんぷん工場 ※詳細は別添チラシを参照</p> <p>5 参加料 無料(昼食代1,280円を負担いただきます)</p> <p>6 申込締切 8月20日(金) → <u>10月4日(月)</u></p> <p>7 その他 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催を中止(延期)することがあります。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開催日程等の変更です。</p>		
参考	<p>「北の住まいるタウン」とは 人口減少・高齢化が急速に進む北海道の市町村において、持続可能なまちづくりを進めるため、「コンパクトなまちづくり」「低炭素・資源循環」「生活を支える」取組を一体的かつ連携させ、誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域づくりを目指す取組。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	「北の住まいるタウン」の推進の観点から、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当 (連絡先)	建設部建設政策局建設政策課 課長補佐 井馬 俊安 TEL 011-231-4111(内線29-804) 直通 011-204-5284		



ニセコ町

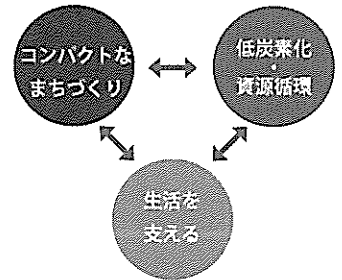
事例見学ツアー

2021

事例に学び、
まちづくりの未来をともに考えよう!

誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域を目指し、「コンパクトなまちづくり」「低炭素・資源循環」「生活を支える」取組を一体的かつ連携して進める「北の住まいるタウン」。

今年度は、ニセコ町で、「事例見学ツアー」を開催します!環境モデル都市として、行政・町民・企業など町全体で温室効果ガス削減に取り組むニセコ町。低炭素なまちづくり、観光・景観の取組などについて、現地を見学し担当の皆さんのお話をうかがいます。地域のまちづくりに関心のある皆さん、これからのまちづくりの進め方を一緒に考えましょう!新型コロナ感染予防対策を徹底して実施します。



日時 2021

10.11月 10:30▶16:30

定員

30名

参加費

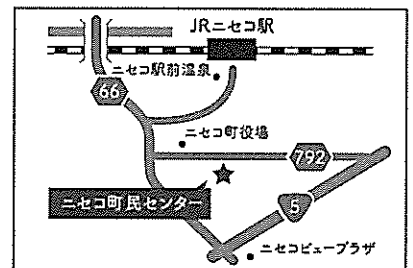
無料

※昼食代¥1,280は
ご負担ください。

会場

ニセコ町民センター
2階 研修室1

虻田郡ニセコ町富士見95番地
JRニセコ駅より徒歩15分
駐車場あり



町民センター 集合

10:30~

ガイダンス

環境モデル都市として、熱分野を中心とした低炭素なまちづくりや、観光・景観の取組など、見学先に関連する施策について、ニセコ町から説明いただきます。

11:30~

① ニセコ町役場 新庁舎



高性能断熱材等の導入で超省エネ性能

自家発電機やコージェネの導入で防災の拠点

貸切バス乗車

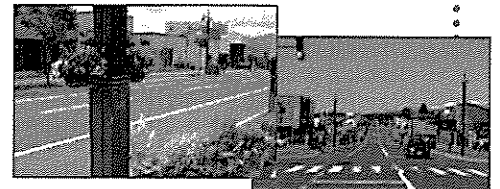
12:25~

昼食

寿し処
寿都 魚一心

13:15~

② 綺羅街道



電線地中化や建築物の共通ルールによる自然と調和した街並みの形成

13:50~

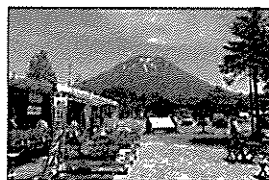
③ JAようてい 雪氷熱倉庫



地域特有の豪雪をエネルギー源に

14:30~

④ ニセコビュープラザ



ニセコ観光のための情報発信基地
・地場産業の活性化の拠点

15:00~

⑤ ニセコ 中央倉庫群 旧でんぶん工場



カフェ、テレワーク施設、創作活動室などを有する交流空間

15:30~

意見交換

視察成果をワークショップ形式で振り返ります。

~16:30

町民センター 解散

裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

主催:北海道(建設部 建設政策局 建設政策課) http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm

運営:「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者:株式会社石塚計画デザイン事務所

ニセコ町事例見学ツアー 訪問先

① ニセコ町役場 新庁舎

2021年5月開庁。高性能断熱材の導入などにより、全国の庁舎でもトップレベルの省エネ性能を誇り、防災センターの機能もあります。羊蹄山とニセコ連峰を見渡せるフリースペースなど、庁舎内外に町民の居場所を設け、開放的な空間となっています。整備にあたっては、まちづくり町民講座やワークショップで町民との議論を重ねてきました。

② 綺羅街道

ニセコ町本通地区のメインストリートのうち730mの区間について、平成14年、「綺羅街道」として整備が完成しました。四季の彩りが映える、歩いて楽しい街並みづくりを目指し、地域住民のみなさんの意見を取り入れて作成した「街なみ形成ガイドライン」に基づいた統一感のあるデザインにより、店舗・住宅、街路灯・案内看板などが整備されています。

③ JAようてい 雪氷熱倉庫

地域特有の豪雪をエネルギー源にした米の倉庫。雪氷熱を利用することで品質維持に適した温度や湿度を保ち、敷地の雪を利用するため輸送コストもかかりません。1300tの貯雪庫と950t×2室の玄米貯蔵庫を有し、「ようてい米」のブランド化を図っています。

④ ニセコビュープラザ

ニセコ町市街地やニセコ山系の入口にあり、小樽・札幌・函館や新千歳空港へも通じる立地条件を活かした、ニセコ観光の情報発信基地及び地域産業の活性化の拠点。公設民営で、情報プラザ棟の運営は観光協会へ委託。フリースペース棟は町内農家60戸が共同組合を設立し管理運営を行うなど責任分担を明確にし、各々の経営努力が収益につながっています。

⑤ ニセコ中央倉庫群 旧でんぶん工場

ニセコの農業の歴史を今に伝える建築物群として、現在も残る貴重な産業遺産です。普段は無料スペースとして開放している屋内交流空間や、テレワーク施設、創作活動室などがあります。

<新型コロナウイルス感染症対策について>

- ※ニセコ中央倉庫でのガイダンス時及び意見交換時、バス乗車時は密にならないよう十分な距離を確保します。
- ※体調がすぐれない場合は、申込後でも参加をお控えください。
- ※ご参加当日、「北海道コロナ通知システム」にご登録いただけます。
- ※当日の検温により、37.5度以上の発熱のある方は参加できません。
- ※当日はマスク着用でご参加ください。

北の住まいるタウン ニセコ町事例見学ツアー 参加申込書 **申込締切** 2021年10月4日(月)

- 参加ご希望の方は、下記に記載のうえ、FAX・電話・Eメールのいずれかでお申し込みください。
- Eメールで申し込まれる場合は、下記の内容をメール本文に記載のうえ、お申し込みください。
- 定員30名、先着順

氏名	電話番号
所属・役職など	メールアドレス

※FAX・Eメールでお申込後、3日以内に返信が無い場合は、お手数ですがお問合せください。
※ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営管理に使用すると共に、参加者から新型コロナウイルス感染者が発生した場合、必要に応じ保健所等へ提供させていただきます。

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています



主催：北海道 建設部 建設政策局 建設政策課 (電話011-204-5284 担当：高山)

お申込・お問い合わせ先：(株)石塚計画デザイン事務所 (担当：蔵田・小林)

FAX 011-251-7574 電話 011-251-7573 (平日9:30~18:00)

E-mail koza@community-design.jp

facebookページもご覧ください。
「北の住まいるタウン」